

きずな

3月号(弥生)

赤磐市立山陽東小学校

人は何のために生きるのか

～生きることを考える～

6年生の教室には、卒業までのカウントダウンのカレンダーが登場しています。この1年間、山陽東小学校の機関車として、常に先頭に立って下級生を引っ張っていた6年生とも間もなくお別れです。今回は、そんな6年生への贈り物として、私の尊敬する方が、ことある毎に、子供たちに語っていたことを書きます。

生きることの目的は次の三つだそうです。

その一つは、自分自身の心と体を磨くことです。全ての人に等しく、自分の知らないまが見ぬ自分がかくれています。そのかくれている能力を引き出し、まだ見ぬ自分を見つけることが生きることの目的です。人生は、自分探しの旅とも言われています。生涯学び続け自分の心と体を磨くことに生きることを意味があります。

二つめは、人に出会うことです。全ての生命は一番にお母さんと出会います。お父さん・家族の人・友達・地域の人・先生、いろいろな人と出会います。これからは、生涯の友となるような好きな人にも出会い、自分の子どもにも出会います。でも、仲のよい人・自分にとって都合のよい人に出会うことが目的ではありません。全ての人との出会いに生きることを意味があります。

最後の一つは、人の人生に意味のある生き方をすることです。「あなたのおかげで、私は元気になりました。」「席をゆずってくださってありがとう」「私にできることがあれば、一緒に考えます」こんな話ができる人になることです。しかし、身近でもっとも大切なことは、親孝行な人になることです。親孝行の心は、生きる目的の全てに通ずるものです。

卒業式でも、「自分探しの旅」「出会い」「人の人生に役立つこと」の三つを、はなむけの言葉として6年生に贈りたいと考えています。

【お礼】

さて、本年度もあとわずかとなりましたが、保護者、地域の皆様には、この1年間、本校教育活動に多くのご支援をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、子どもたちは充実した学校生活を送ることができました。また、PTA役員の皆様におかれましては、PTA活動の中心となって企画・運営にあたっていただき、たいへんお世話になりました。多くの方々にご協力いただいたことに厚く御礼申し上げます。

(校長 坪井 秀樹)